

事業概要

モデル事業名	岩手宮城県境地域と大阪の双方向的な地域社会・経済復興支援事業
分類	<input type="checkbox"/> 一般枠 <input type="checkbox"/> 重点化枠 <input checked="" type="checkbox"/> 震災対応案件
事業実施主体名	共生社会東日本地震被災者救援・支援の会
実施期間	平成24年4月24日～平成25年3月31日
支援額	600万円
マルチステークホルダー（会議体）の取組状況	大阪市 市民局区政課市民活動グループ、（社福）大阪市社会福祉協議会、PTA コラボネット大阪、NPO 法人 SEIN、NPO 法人ネットワークオレンジ、大阪府立北摂つばさ高校、がんばろう！つばさネットワーク、宮城県立気仙沼高校、大阪市立大学大学院創造都市研究科都市共生社会研究分野
目的・趣旨	岩手宮城県境地域に限定し、将来を担う若者の育成、中長期的な支援が必要な地域の絆の回復強化に向けた支援、観光や水産業を市場活用型の事業として支援していくことを目的に、大阪と岩手宮城県境地域の双方向的な支援、交流、啓発活動を実施する。
事業内容	<p>事業の対象を岩手宮城県境地域に限定するとともに、具体的な内容としては、1) 被災地の復旧・復興の将来を担う若者のリーダーシップの育成に向けた大阪と岩手宮城県境地域の高校生によるユースフォーラムの開催、2) ヒューマン・リカバリーというコンセプトの下、中長期的な支援が必要な地域の絆の回復強化に向けたボランティア活動を通じた支援とヒューマン・リカバリーについての研究と啓発の活動、3) 観光や水産業を市場活用型の事業として支援していくための旅行社の参画を促す活動や水産業などの復旧・復興に向けた資金調達を支援する市民ファンドの創設支援などの活動を軸に、大阪と岩手宮城県境地域の双方向的な支援、交流、啓発活動を実施する。</p> <p>事業の実施時期、具体的内容は、以下の通り。</p> <p>1) ユースサミット開催事業 平成24年5月、準備ためのバスを岩手宮城県境地域に派遣、実施に向けた議論や交流を行う。 平成24年8月、岩手宮城県境地域と大阪の若者が被災地の復旧・復興について被災地から若者を大阪に招き、会議（ユースサミット）や交流を行う</p> <p>2) ヒューマン・リカバリー促進事業 平成24年5月、ユースサミットの準備会議のバスに分乗してボランティアを岩手宮城県境地域に派遣、被災地の人々の地域における絆づくりを促す。 平成24年10月、同様のボランティアバスを派遣する。</p>

平成 24 年 11 月ないし 12 月、カトリーナ台風後に被災者のヒューマン・リカバリーに関して調査を行った研究者を招き、調査の手法や結果について聞く研究会とシンポジウムを大阪で開催する。

3) 「市場活用型」地域経済復興支援事業

平成 24 年 10 月、ヒューマン・リカバリーの現地派遣バスに分乗する形で、岩手宮城県境地域への観光を事業化に向けた調査をかねたツアーを実施する。

平成 24 年 12 月、岩手宮城県境地域の個人や小規模な漁業、農業、地場の特産品の製造販売業者などで、市民からの資金調達を希望する人 3 名を選出し、大阪で資金調達の説明会を開催する。